

1. 略歴

- 1992年3月 東京大学文学部イスラム学専修課程卒業
- 1992年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学修士課程入学
- 1994年3月 同修了
- 1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科イスラム学博士課程進学
- 1998年3月 博士（文学）の学位取得
- 1998年4月 東京大学東洋文化研究所研究機関研究員（2000年3月まで）
- 2000年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（2003年3月まで）
- 2004年4月 神田外語大学外国語学部専任講師
- 2008年4月 神田外語大学外国語学部准教授
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

シーア派思想史

b 研究課題

7世紀以降のシーア派思想史における「極端派」思想と十二イマーム派、イスマール派の形成過程との関係について研究している。

c 主要業績

(1) 著書

共著、竹下政孝・山内志朗(編)、『イスラーム哲学とキリスト教中世 III：神秘哲学』、岩波書店、2012.1
共著、黒木英充(編)、『シリアとレバノンを知るための67章』、明石書店、2013.8

(2) 論文

TATSUYA KIKUCHI、「The Resurrection of Isma'ili Myth in Twelfth-Century Yemen」、『Ishraq』、4、345-359頁、2013.6
菊地達也、「イスラーム教シーア派におけるメシア主義とその神話化」、『文化交流研究』、27、37-47頁、2014.3

(3) 学会発表

国内、菊地達也、「イスラーム少数派」、「基盤研究 A グローバル化時代に対応する 21 世紀型イスラーム学の構築」研究会、京都大学、2013.10.11
国内、菊地達也、「シーア派思想史と極端派(グラート)」、スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座、東京大学駒場キャンパス、2013.10.19
国内、菊地達也、「現代ドゥルーズ派のタキーヤと護教論」、「科研 A 変革期のイスラーム」2013 年度第 2 回研究会、東京国際大学、2014.2.21
国内、菊地達也、「イスラーム共同体の境界領域：ドゥルーズ派を中心に」、「基盤 A ユダヤ・イスラーム宗教共同体の起源と特性に関する文明史的研究」研究会、立教大学、2014.3.18

(4) 監修

菊地達也、『イスラムがわかる!』、成美堂出版、2013.5

(5) 翻訳

共訳、Adalberto Aguirre, Jr., Jonathan H. Turner, "American Ethnicity: The Dynamics and Consequences of Discrimination, Fifth Edition"、菊地達也、アダルベルト・アギーレ・ジュニア、ジョナサン H. ターナー『アメリカンのエスニシティ：人種的融和を目指す多民族国家』、明石書店、2013.1

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、神田外語大学外国語学部、「宗教学 IA/IB」、2013.4~2014.3
非常勤講師、神田外語大学外国語学部、「研究演習-54」、2013.4~2014.3